令和２年度　開成町立開成小学校学校だより　　第７号

開物成務

令和２年　12 月 25 日（金）発行

校長　渡辺　理恵

2020 年終了

2020 年は、新型コロナウイルスの世界的な流行で大変な１年でした。

昨年度末からの臨時休業に続き、４月６日に始業式・入学式をした後も再び臨時休業になりました。今までの日本の学校教育を振り返っても例を見ないものでした。６月に入り、やっと学校が再開されました。感染症対策として、地区別の分散登校から始まり、３密を避け、飛沫が飛ばない学習を余儀なくされました。

いろいろな活動を変更・中止してきました。今まで当たり前に実施していた一つ一つの活動のほとんどが変わりました。授業、日課、清掃、給食、朝会、集会・・・・・・。そして、運動会はスポーツデーに、宿泊を伴う５年生の林間学校と６年生の修学旅行は代替行事になりました。たくさんの制約のある中、職員は、なんとか子どもたちが楽しく分かりやすく学べるように考えて進めてきました。実施方法、実施内容は賛否両論あると思います。ただ万一を考え、すべて子どもたちの「いのちを守る」ことを最優先に考えています。感染症対策にも慣れ、with コロナになった現在も、新型コロナウイルスは、未だ収束する気配はありません。むしろ、いつ、だれが感染してもおかしくない状況になっています。

保護者の皆様には、子どもたちの様子を見ていただく機会もほとんど持てず、担任との関係もなかなか築けないまま２学期が終わってしまうことを本当に申し訳なく思います。また、ここまでいろいろな変更があったにもかかわらず、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。併せて、マスクや消毒薬、ペーパータオル等をご寄付いただいた地域の会社や団体様、本当にありがとうございました。

コロナ禍でも、何とか授業ができ、子どもたちと学校生活が送れたことを改めて嬉しく思い、残り 54 日（６年生 52 日）が、皆健康で無事に送れることを願ってやみません。2021 年が良い年になりますように。

あいさつ運動～企画委員会

今年度の年間スローガンは「目指そう　一人一人が　すてきさん」、重点目標は『相手を思う温かいあいさつをしよう』です。企画委員会では、より良い学校をつくるためにできることはないかと考え、「あいさつ運動」を企画してくれました。今年は、皆マスクをしているので大きな声が出せませんが、心を込めて目を見て温かいあいさつをしましょうと全校に呼びかけ、まずは企画委員自ら自作のたすきをかけ、11 月 30 日から２週間毎朝、門や昇降口に立って一人一人にあいさつをしてくれました。

最初は戸惑っていた子どもたちですが、企画委員の気持ちが少しずつ伝わり始め、日に日にあいさつをする子が増えてきました。しかも、最初は企画委員からあいさつをしなければ返ってこなかったのですが、登校する子どもたちから進んで「おはようございます！」と言えるようにもなってきました。さらに、顔を合わせた子ども同士で「おはよう！」「あ、おはよう！」という姿も見られるようになってきました。最終日には、企画委員から「手応えがあった。」という言葉を聞くことができました。また、毎朝門を開け登校を見守ってくださっている警備員さんからは、「子どもたちがこういうことをやるのはとても良いことですね。」というお言葉もいただきました。校長もできるだけ毎朝門に立ち、一人一人の子どもたちにあいさつの言葉をかけていますが、子どもたちの力は偉大です。

これをきっかけに、たくさんの子どもたちが、地域の方や来校されたお客様、トイレ清掃をしてくださっている方々などに、温かい心のこもったあいさつが進んでできるようになってほしいと思います。

通知票「あゆみ」が変わりました。

今年度より、学習指導要領改訂に伴い、通知票「あゆみ」の様式・記載内容が変わります。そのお知らせを配付いたしましたので、よくお読みください。

なお、2～6 年生においては、昨年度のものとは一概に比較等はできないことにご注意ください。

また、４月より、発熱などの風邪症状や感染が心配な場合のお休みは、「欠席ではなく出席停止」の措置を取っています。

保護者の皆様におかれましては、子どもの良い点や努力した点をほめていただき、課題となっているところは、次の目標や支援に生かしていただきますようお願いいたします。

【具体例】「あゆみ」の＜教科の学習＞『国語』(1・2 年)を例にとると、

〇昨年度まで

教科	観　点	内　　容	1学期	2学期	学　年
国語	国語への関心・意欲・態度	伝え合う力を高めるため,国語への関心をもち，進んで話したり，書いたり，読んだりしている。			
	話す・聞く能力	相手に応じて順序を考えながら話したり,大事なことを落とさないように聞いたりしている。			
	書く能力	経験したことなどについて，順序を整理し,簡単な構成を考えて文章を書いている。			
	読む能力	書かれている事柄の順序や場面の様子に気付いたり,想像を広げたりして本や文章を読んでいる。			
	言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化にふれるとともに,言葉や文字を正しく読んだり，工夫したりしている。			

〇令和２年度から

教科	観　点	内　　容	1学期	2学期	学　年
国語	知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに､我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。			
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」､「書くこと」､「読むこと」において、順序立てて考え、感じたり想像したりするとともに､自分の思いや考えをもっている。			
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさを感じるとともに､楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。			

観点は、すべての教科でこの３つの観点に統一されました。

内容については、低・中・高と学年が上がるにしたがって、少しずつ難しくなっていきます。

すてきさん　見つけました！

寒い朝が続いていましたが、「あいさつ運動」の成果がよく出ていて、どの子も「おはようございます！」と気持ちの良いあいさつをしてくれます。ところが、今朝は、いつも元気にあいさつをしてくれる４年生のＡさんが、何も言わずに手を動かしているのです。今日はどうしたのだろうと思い、もう一度「おはようございます！」というと、同じ動きをするばかり。「手話だ！」とやっと気が付くとニッコリのＡさん。４年生は、総合の学習「ともに生きる」でユニバーサル・デザインなどの勉強をしていたのを思い出しました。学習したことを、早速生活の中に生かしているＡさんは“すてきさん”ですね。